

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●天皇賞(春)はタイトルホルダーが逃げ切りV

5月1日(日)に行われた天皇賞(春)(G I)ではタイトルホルダー(牡4歳/美浦・栗田徹厩舎)が逃げ切って優勝、昨年の菊花賞に続く2つ目のG Iタイトルを手に入れました。鞍上・横山和生騎手の祖父である横山富雄元騎手は1971年に、父の横山典弘騎手は1996年・2004年・2015年に同レースを勝利しており、騎手による天皇賞(春)親子三代制覇は史上初のこととなります。

●菱田裕二騎手がJRA通算400勝を達成

4月30日(土)の1回福島5日・第5レースではグラストンベリーが1着となり、同馬に騎乗した菱田裕二騎手(栗東・岡田稲男厩舎)は、現役41人目となるJRA通算400勝(5990戦目)を達成しました。

●鮫島克駿騎手がJRA通算300勝を達成

5月1日(日)の1回福島6日・第7レースではランスルーが1着となり、同馬に騎乗した鮫島克駿騎手(栗東・フリー)は、現役51人目となるJRA通算300勝(4627戦目)を達成しました。

●武市康男調教師がJRA通算200勝を達成

4月30日(土)の2回東京3日・第3レースではヒメカミノイタダキが1着となり、同馬を管理する武市康男調教師(美浦)は、現役104人目となるJRA通算200勝(延べ4377頭目)を達成しました。

●中村直也調教師がJRA初勝利をあげる

5月1日(日)の2回阪神12日・第1レースではエグモントが1着となり、同馬を管理する中村直也調教師(栗東)は、JRA初勝利(延べ41頭目)をあげました。

●丹内祐次騎手が春の福島リーディングジョッキーに輝く

5月1日(日)をもって1回福島競馬が終了し、7勝をあげた丹内祐次騎手(美浦・フリー)が開催リーディングジョッキーとなりました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●かしわ記念(船橋)は牝馬ショウナンナデシコの逃げ切り勝ち

かしわ記念(Jpn I、5月5日、船橋、1600m)は、最内枠から先手を取った2番人気のショウナンナデシコ(吉田隼人騎手、牝5歳、父オルフェウール)がソリストサンダーに1馬身半差を付け、3度目の重賞勝ちがJpn I初制覇となりました。1番人気に推されたティエムサウスダンが3着、エアスピネルは5着、サンライズノヴァは6着、3番人気のインティは7着に終わっています。

●ブリッツファングが兵庫チャンピオンシップ(園田)を圧勝

兵庫チャンピオンシップ(Jpn II、3歳、5月4日、園田、1870m)は、3番手前後から最終コーナー手前で先頭に立った3番人気のブリッツファング(池添謙一騎手、牡、父ホッコータルマエ)が、2番人気のノットゥルノを8馬身引き離して圧勝。コンシリエールが3着に入り、単勝1.8倍の支持を集めた全日本2歳優駿の覇者ドライスタウトはスタートで大きく躓く不利もあって、デビュー4戦目で初黒星となる4着、アイスジャイアントは最下位の12着でした。

●かきつばた記念(名古屋)で兵庫のイグナイターがJpn III 2連勝

かきつばた記念(Jpn III、5月3日、名古屋、1500m)は、2番人気の兵庫所属馬イグナイター(田中学騎手、牡4歳、父エスポワールシチー)が3番手追走から直線で外を通過して抜け出し、黒船賞に続くJpn III 2連勝。1番人気のヘリオスが2着、逃げたラブタスが3着に粘り、3番人気のタガノビューティーは4着、ワイドファラオは6着、ピンシャンは7着に敗れています。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G 1英2000ギニー～コロエバスが制す

現地時間4月30日にイギリスのニューマーケット競馬場で行われたG 1英2000ギニー(3歳牡・牝、芝1600m)は中団から末脚を伸ばしたコロエバス(牡、父ドバウイ)が優勝。3/4馬身差の2着には昨年の欧州最優秀2歳牡馬ネイティプトレイルが入って、ゴドルフィンとC.アップルビー厩舎のワンツーフイニッシュとなりました。G 1ドバイワールドCを連覇したサンダースノーの甥にあたるコロエバスは、今回と同距離同コースで行われた昨年10月のG 3英オータムSを最後方から差して重賞初制覇。ここはそれ以来のレースでした。鞍上のJ.ドイル騎手、管理するアップルビー調教師はともにこのレース初制覇です。

●G 1英1000ギニー～キャシェイが逃げ切る

上記英2000ギニーの翌日に同じニューマーケット競馬場で行われたG 1英1000ギニー(3歳牝、芝1600m)はダッシュ良くゲートから飛び出してハナを奪ったキャシェイ(牝3歳、父アクレーム)がクビ差の逃げ切り勝ち。4月12日のG 3ネルグウィンS(芝1400m)に続く重賞連勝でG 1初制覇を果たしました。手綱を取ったJ.ドイル騎手はこのレース初制覇を果たすとともに、前日の英2000ギニーとのダブル制覇も達成。開業4年目のG.ボウイー調教師はG 1初制覇をクラシックで飾りました。